

第9回北谷町地域公共交通会議議事録

- 1 開催年月日：令和元年11月12日（火）
- 2 会議時刻：14時00分から
- 3 会議場所：北谷町役場3階庁議室
- 4 出席委員
 - (1) 神山 正勝 北谷町副町長
 - (2) 小谷 和史 内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課長
 - (3) 児玉 真奈美 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室専門職※代理出席
 - (4) 宮里 宏和 沖縄県中部土木事務所技術総括
 - (5) 我如古 盛明 沖縄県警察沖縄警察署交通対策課長
 - (6) 仲宗根 仁志 北谷町自治会長連絡協議会
 - (7) 徳田 伝 北谷町北前区自治会会長
 - (8) 岡村 悦子 北谷町美浜区自治会会長
 - (9) 名嘉山 敬雄 沖縄バス株式会社運輸部業務課長
 - (10) 仲間 直克 那覇バス株式会社 業務課係長
 - (11) 東江 一成 沖縄交通事業協同組合代表理事
 - (12) 玉城 清松 北谷町老人クラブ連合会会長
 - (13) 屋比久 里美 北谷町観光協会会長
- 5 欠席委員
 - (1) 神谷 大介 琉球大学工学部環境建設工学科准教授
 - (2) 川崎 聡 内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所副所長
 - (3) 大城 幸和 琉球バス交通株式会社業務部次長
 - (4) 喜屋武 悟 私鉄沖縄県労働組合連合会執行委員長
 - (5) 津波古 修 沖縄県ハイヤー・タクシー協会事務局長
 - (6) 米須 義明 北谷町商工会会長
 - (7) 慶田 佳春 一般社団法人沖縄県バス協会専務理事
- 6 事務局
 - (1) 北谷町役場
 - ① 仲松 明 企画財政課長
 - ② 照屋 光司 企画調整係長
 - ③ 知念 望 企画財政課主事
 - ④ 仲嶺 勇樹 企画調整係員

(2) ランドブレイン株式会社

- ①東 満伸 沖縄事務所所長
- ②瀬戸 慎一 交通 T・チーム長補佐
- ③金城 立樹 研究員

7 説明又は意見を求めるために出席した者：なし

8 傍聴人：0名

9 議題

- (1) 北谷町コミュニティバス検討調査について
 - ①北谷町コミュニティバスの利用状況等について（報告）
 - ②見直し基準に対する町民への周知について
- (2) 北谷町地域公共交通網形成計画について
 - ①地域公共交通網形成計画とは
 - ②地域公共交通網形成計画の概要について
 - ③北谷町地域公共交通網形成計画のスケジュール及び内容について
 - ④地域公共交通網形成計画（中間報告）について

10 会議資料

- (1) 次第
- (2) 座席配置図
- (3) 北谷町地域公共交通会議設置要綱の改定案について【参考資料】
- (4) 北谷町コミュニティバスの利用状況等について【資料1】
- (5) 見直し基準に対する町民への周知について【資料2】
- (6) 地域公共交通網形成計画の概要について【資料3】
- (7) 北谷町地域公共交通網形成計画のスケジュール及び内容について【資料4】
- (8) 地域公共交通網形成計画（中間報告）について【資料5】
- (9) 北谷町地域公共交通網形成計画とは【別紙資料】

11 会議内容

議長：	<p>1. 開会</p> <p>みなさん、こんにちは。先ほど公共交通会議の会長にご承認いただきました、副町長の神山でございます。よろしくお願ひ致します。事務局からございましたように、本日6名の方が欠席されてございますけど、あらかじめ交通会議に対する承認をいただいているみなさんです。今回で公共交通会議は3期目となっております。今、実はC-BUS、北谷町のコミュニティバスが令和3年まで実証実験の継続をしたということになっておりま</p>
-----	--

	<p>す。なかなか採算が目標達成に届かないなかで、その間、2年間でどのような方向性、どのような着地点を見つけていこうかというところが、今回諮る話となっております。</p>
議長：	<p>そういうことを考えますと、今期におきまして、このコミュニティバスと関連をする、北谷町地域公共交通網形成計画につきましても、事務局に対してご意見いただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
議長：	<p>それでは、ただいまより会議を開会します。</p>
議長：	<p>議事に入る前に、本日の会議録署名委員を仲間委員にお願いしたいと思 います。ご承認よろしくをお願いします。</p>
	<p>委員～異議なし～</p>
	<p>2. 議題</p>
議長：	<p>それでは、議題（1）について、説明をお願いします。</p>
事務局：	<p>議題（1）-①北谷町コミュニティバスの利用状況等について（報告） 及び議題（1）-②見直し基準に対する町民への周知について</p>
議長：	<p>ただいまの報告について質疑がございましたらよろしくをお願いします。</p>
委員：	<p>見直し案についてよく理解できました。少ない箇所を見直すというのは 大切で、便やコース等で空白地を埋めるのも良いのですが、観光協会の立 場から話すと、砂辺駐機場より先にビーチがあり、その辺りについて観光 ルートやまちまーい等を検討しています。北谷町にはグスクや遺跡があ り、あの辺りを通ってあそこに行くとなんか見られる等、「もの」はなく とも土地に何かがあるだけでも観光になると言われているため、そういった 案内をやっていただければ観光客にとっても親切であり、また、このバス で何処に行けるという案内もセットであれば活用できると思います。</p>
委員：	<p>もう一つのメリットとして、1泊のみ滞在していた観光客が2泊・3泊 とゆっくり過ごせるまちになるのではないかとということで、それにより観 光収入も増えるのではないかとこの点があります。今後は一緒になり、 様々な開発やルートの見直しを行い、私たちも努力したいと思っていま す。</p>
事務局：	<p>ありがとうございます。現在まさにまちまーいということで、バス停か らの案内や観光情報の発信が必要かと思っています。今年度の5月もしく は6月からバス予報ということで、コミュニティバスに特化したバスロケ ーションシステムを導入しており、スマートフォンやタブレットが必要と なりますが、それを活用すると、観光情報をバス停の部分に付加できます。</p>
委員：	<p>北谷に来たら車を置き、馬場公園に子どもを連れて遊びに行くと夕日も 見れる等、そのような案内やストーリーの作り方が必要ではないかと思 います。</p>
委員：	<p>また、バス停を減らすということですが、お年寄りの利用者が情報セン ターの前で降り、ジャスコで10人ほど集まってゆんたくをし、その後サ ンエーに移動しゆんたくをすると、そういった少数の利用者もいるため、 委員：</p>
委員：	<p>私たちは収入という面で貢献できないか考える必要があると思っていま す。</p>
	<p>収支率25%と目標に挙げていますが、これを下回るとコミュニティバス として運行しないということですか？また、どのくらいで25%が達成され</p>

	<p>ますか。</p>
委員：	<p>本格運行に入るかどうかという判断基準になります。評価基準の一つの手法で、量の評価として収支率 25%としています。もう一つの評価として、高齢者の健康増進、生きがづくり、外出機会の創出等、また観光地としての魅力向上効果、地域観光利用の促進ということで、路線バスとコミュニティバスの連携、公共交通の促進としています。定性的な評価と定量的な評価において、総合的に判断して最終的に本格運行もしくは廃止という決断になるという考えです。</p>
事務局：	<p>何人乗れば、25%達成されるのかということに関して、約 1 便につき入れ代わり立ち代わりで 13 人ほど乗らないと、運賃収入だけでの 25%というのは達成できない計算です。</p>
事務局：	<p>現在の 3 倍ほど。ただ、その収支率 25%というのは、それをクリアできないから廃止していくという訳ではないということですか？</p>
委員：	<p>数値だけでの判断ではないということです。</p>
委員：	<p>あくまでも目標という訳ですね。分かりました。</p>
事務局：	<p>ただいまは一つの情報です。収支率 25%というのはあくまでも一つの判断基準であり、最終的には行政判断もあるかと思いますが、まずは状況報告という形です。</p>
委員：	<p>報告という形です。</p>
議長：	<p>コミュニティバスは何人乗りですか？</p>
	<p>13 人乗りの車両で、運転手及び助手席を除いて 11 人が乗車可能です。であれば、満席でなくてはいけないということですよ。</p>
委員：	<p>乗降者がいるという考えはありますが、累計ではそういう形です。</p>
事務局：	<p>見直しの話ですが、目標が 25%となっている一方で収入が 7%です。先ほど事務局から話が出たように、平均の人数が 1 人未満の場合は考えるということ、それに該当するのが東部の北玉区あたり。しかし、当初コミュニティバスを事業とした目的が、コミュニティや福祉のためというイメージでした。該当している箇所にも利用者がいるため、北玉区の区長とも連絡を密に取りながら進めていってはどうかと思います。また、なぜ乗らないのか、なぜ利用しないのかということも問題だと思います。</p>
事務局：	<p>なぜ乗らないかというところで、私がよく聞くのは、リーフレットの文字が小さく読めず、そのため、どこで乗ればどこに行くのか分からないということです。</p>
事務局：	<p>今年度の取組みの一つで、自治会にお邪魔し、頻繁に訪れるスーパーや町外の大きな病院へ行くためのマイ時刻表作成を北玉区と上勢区で行います。どこのバス停に何時にいればバスが来て、それに乗ればどこに行ける、またはどこのバス停で乗り継げばどこに行けるというのを高齢者に示し、それによって利用促進につなげていく取組みを、現在準備しています。</p>
	<p>全国でコミュニティバスがあるため、国土交通省あたりに資料があると思います。全国の成功事例や失敗事例、どうして成功したのか、どうして失敗したのか、そういった事例を出していただき、それを参考に北谷町の地域性に当てはめて考えていけば、より良いものができるはず。</p>
委員：	<p>資料があれば、提供します。</p>
	<p>事務局は、これを参考に検討を行ってください。</p>

<p>委員： 議長： 委員：</p>	<p>なかなか北谷町老人クラブ連合会の利用が伸びていないと感じる。高齢者への利便性というのを考えるのであれば、もうすこし伸びてもいいかと思えます。美浜にいる老人から、タクシーで乗合をした方が安いという話を聞ききます。100円が高いのかどうかは疑問ですが、往復であれば200円になるという考え方をしているのかと思えます。まだ免許を返納する人が少ない状況ですが、返納した場合は安くなりますか？</p>
<p>事務局： 委員：</p>	<p>返納をすれば100円になりますが、元々100円であるため変わりがない。今ならバスやタクシー等の公共交通は免許を返納したら半額となります。そういった点も加味していくと利用率アップになるかと思えます。利用率のアップを考えると低価格にするということもありますが、しかし相反して収支率の面で、収益が下がるということもあります。福祉という面がありつつも運営という面もある。</p>
<p>事務局： 事務局：</p>	<p>現在、県内のコミュニティバスを運行・運営している各市町村で集まり、事例等も含めお話・アドバイスをいただき、またこちら側からも情報提供を行っています。沖縄市ではルートを拡充する代わりに運賃を上げ、利用者は減りますが運賃収入は増えるというパターンとなっています。バランスをどこに寄せていくのか等、そういった点も含め庁内の会議やこの公共交通会議において、様々な意見を頂戴しつつ方向性を決めていきたいと思えます。</p>
<p>委員：</p>	<p>乗らない理由で、時間が掛かりすぎるといことがある。タクシーなら5分のところ、コミュニティバスでは30分かかり、それならタクシーで行った方が良くなります。先ほど乗合タクシーでの話がありましたが、安いというよりも時間が早い。料金は2倍ほどあるかもしれない。そのため、安くするというよりもニーズを考え、便を増やし早めに着くような改善をする方が、時間的なものが先ではないかと思えます。中学生でも朝の時間帯は2便出す等、そうすれば親も楽になると思えます。</p>
<p>事務局：</p>	<p>路線バスを含め、定時定速性が常に求められている。沖縄県全体のバス利用者が減る一方で自家用車やレンタカーといった様々な交通手段が増え、それによる交通渋滞でバスが時間通りに来ないという状況もあります。沖縄県や国はバスレーンを設置し、なるべく定時定速性で、また基幹バス構想等でより早く着けるように那覇 - 沖縄市間を結んでいます。北谷町内、西海岸を通るルートは夕刻になるとダイヤが確実に守れておらず、当たり前のようには数分あるいは十数分遅れる状況が続いています。早く回る方法をいろいろと研究していますが、なかなか難しい状況です。南北と東西間を回るような循環ルートとする等、そのような抜本的な編成も必要となるかもしれません。そのルートから外れた箇所は、そこを利用している方たちを補完する交通手段を同時に検討する必要があり、今回考えている地域公共交通網形成計画も含め、また収支等、費用対効果のバランスも比べながら何が一番適切なのか検討し判断するべきかと思っています。</p> <p>ただいまの議題は、見直し基準に対する町民への周知です。見直し基準を満たしていない箇所がいくつかあり、それを周知するためにニュースとして流す。これについて、なぜ足りないのか、どうすれば改善されるのかという点で、多くのご意見を頂戴しました。今後、このご意見を踏まえ、</p>

議長 :	<p>法規委員会においても検討していく必要があるのではないかと思います。</p> <p>これは11月の広報ですか？</p> <p>今月配布されているため、11月です。</p> <p>注意していただきたいのは、すぐに廃止ではなく、これを踏まえ議論を行っていくということで情報提供しています。こういう状況だと町民に流しています。</p> <p>これについて、何かご意見はありますか？</p>
議長 :	特になし。
事務局 :	議題(1)-①北谷町コミュニティバスの利用状況等について(報告)
議長 :	及び議題(1)-②見直し基準に対する町民への周知については、以上とします。
議長 :	議題(2)-①地域公共交通網形成計画とは
全員 :	コミュニティバスについて、あと2か年で本格運行かどうか決定してい
議長 :	かななくてはならない。北谷町における地域公共交通網形成計画の基本的な
議長 :	考え方は別紙資料の2頁に示されているが、何かご意見ありますか？
議長 :	特になし
議長 :	議題(2)-②地域公共交通網形成計画の概要について
事務局 :	この概要というのは、法律に則った概要ということで良いですか？
議長 :	はい。
議長 :	次のスケジュール及び内容まで説明をお願いします。
議長 :	議題(2)-③北谷町地域公共交通網形成計画のスケジュール及び内
全員 :	容について
事務局 :	現在、議題(2)の②及び③まで説明を終えましたが、これについて何
議長 :	かご意見ありますか？
事務局 :	特になし
議長 :	議題(2)-④地域公共交通網形成計画(中間報告)について
事務局 :	以上、説明がありましたが、まず北谷町の現状について7点の課題が挙
議長 :	げられました。それに対し4つの施策案を示しています。何かご意見あり
議長 :	ますか？
議長 :	資料5の32頁で交通結節点のあり方に関して、資料3の2頁でまちづ
全員 :	くりという点にも触れていました。交通結節点は非常に大事ですが、それ
事務局 :	を造るだけでなく、この結節点で様々な要件を済ますことのできる施設に
議長 :	していく必要があると思います。ただの中継地点ではなかなか難しい。そ
議長 :	ういった点と連携していけば、ありがたい。
議長 :	北谷町西海岸の中心に4.5haの美浜公共駐車場があります。これは北谷
委員 :	町西海岸の観光地である美浜アメリカンビレッジを開発する際に、沖縄県
委員 :	民と観光客を7:3という割合で想定し、県民の余暇として、これまでは
委員 :	通過交通であった北谷町に足を止めてもらうために大型の駐車場を造り
委員 :	ました。しかし、現在ではインバウンドの拡大もあり、様々なまちづくり
委員 :	の拠点となるだろうということで、一昨年から去年にかけて、構想を作っ
事務局 :	ています。海からのアクセスや鉄軌道等もこちらに集約を想定しております。
事務局 :	また、北谷町役場の南側、キャンプ桑江南側には返還跡地が予定されて

	<p>おり、そちらも交通結節点と想定し、現在、先行取得で町有地を拡張しています。その連携で人を集め、そこで商業地に誘導するような、また博物館とも連携して、世界から来られるお客様をもてなすというところを、この結節点で予定しています。</p>
事務局：	<p>これについては、町として昨年、北谷町公共駐車場戦略的活用計画を出しています。さらに、キャンプ桑江でも駐車場を計画しており、その辺りが結節点として活用できるのではないかと考えています。是非、そういった点も念頭に置きつつ、参考にしながら進めていければ良いと思います。その他にありますか？</p>
議長：	<p>資料5の33頁の交通ネットワークイメージがありますが、現在、海上交通が注目されていて、その位置付け、例えば同資料30頁の方針等を作るにあたり、海上交通との連携や位置付けを事務局としてどのように考えていますか？</p>
議長： 委員：	<p>先ほどの美浜公共駐車場を核とした構想もあります。また、北谷町には西海岸に浜川漁港があり、その中にはフィッシャリーナ整備事業でホテルが集積しています。こちらは当初より海の玄関口として大型船も寄港できる設計となっており、この海上交通も見込んで事業を進めています。また海からアクセスした際に眺望という点も考え、都市計画において眺望に配慮した計画、建物のつくりというのもこのフィッシャリーナ整備事業で行われています。</p>
事務局：	<p>海上交通も含め、あらゆる北谷町の海の資源、そして西海岸に集積された様々な施設を世界から来られる観光客が体験できる、楽しめる空間というのを意識し、このまちづくりを進めるようにしたい。そして、今回の地域公共交通網形成計画にもリンクさせ、町内の横移動もスムーズにできるような計画にしていきたいと思っています。</p>
事務局：	<p>追加で。資料5の32頁の各公共交通機関の機能分担という点で、那覇市や本部町等と広域的なつながりとなるため、この機能分類で言うと幹線公共交通として位置付けられるものとなります。北谷町から船に乗るまではコミュニティバスに乗っていただき、船で乗り継いで他市町村に行くという形にすれば、単純に車の台数が1台減り、家族で出掛ける際に使いやすいものとなるので、そういった位置付けでつなげていくことになるかと思っています。</p>
事務局：	<p>この地域公共交通会議は当初コミュニティバスの話でありましたが、やはりコミュニティバスだけでは全ての目的を達成することは難しい。公共交通の基本的な考え方を含め、コミュニティバスの運行もその中に盛り込んでいった活用法があるだろうと。そういう訳で、今回より地域公共交通網形成計画についても議論いただいているため、ご理解をいただきたいと思っています。</p>
議長：	<p>皆様方には課題としてコミュニティバスの再編やそれに伴う他の公共交通への対応等も盛り込んでいくこととなっています。今後も皆様のご意見を踏まえながら素晴らしい計画となればと思います。</p> <p>3. その他</p> <p>本日子定していた議題は以上です。事務局より何かありますか？</p>

<p>議長 :</p>	<p>2点あります。今年度、あと2回、本会議を開催し、その中で公共交通網形成計画についても協議していきたいと思ひます。また日程調整において連絡をさせていただくため、ご協力ください。</p> <p>また、本会議の参加にあたり、報酬の受け取りを希望された方は口座登録等で記入いただく書類があるため、用意ができた後、改めてやり取りをさせていただきます。よろしくお願ひ致します。以上、2点です。</p>
<p>議長 :</p>	<p>4. 閉会</p>
<p>事務局 :</p>	<p>以上で、第9回 北谷町地域公共交通会議を終了とします。本日は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。</p>
<p>事務局 :</p>	<p style="text-align: right;">以上</p>
<p>議長 :</p>	